

徳島子どもと教育

徳島県教職員の会
〒771-0017徳島市川内町鶴島115
黄金ビル 徳島労連事務所内
TEL 088-665-6644
FAX 088-665-2117
携帯 090-2891-5189
eメール dp12287892@pf.lolipop.jp
2019年7月10日 No.238

ゆきとどいた教育をめざす徳島県連絡会 2019年度総会と学習会を開催

6月22日、県立総合福祉センターにて、ゆきとどいた教育をめざす会徳島県連絡会の総会と学習会が開催されました。

総会では、まず事務局から2018年度の活動報告がありました。5月に教育署名と請願書を県議会に提出。その際、県議会議員選挙後だったこともあり、全ての会派回りをを行い、4名の県議と懇談し、その内の3名が紹介議員になってくれたことが報告されました。この後、2019年度の運動方針や新年度の役員などが提案され、承認されました。

総会後、俵義文さん(子どもと教科書全国ネット21代表委員)の「2019年小学校教科書採択 新しい教科書の内容は？」と題する学習会があり、参加者は熱心に耳を傾けました。参加者の感想を紹介します。



・今回の新学習指導要領による教科書改訂は、内容だけの改訂にとどまることなく教育を根本的に変えてしまう大改悪であることを、もっと広く強く訴えるべきだと思います。具体的な内容より、学力、教育の目標が大転換されることの危険さをもっと教えてほしかったです。

・今回の教科書が、おそらく「過去最悪の出来」という言葉が印象に残りました。教師の教え方や生徒の学び方まで、教科書に書き込まれており、教科書がつまらない、わくわくしない、面白くないという声があります。それならば、教師が教科書を超えるような実践をしなければと感じました。また、人を育てるのではなく、「人材」をつくるという学習指導要領をもっと批判していかなければと思いました。

世界最悪の長時間過密労働なくすのは、 変形労働時間制か 教員の大幅増員か

経済協力開発機構(OECD)は6月19日、昨年実施した教員の労働時間についての調査結果を公表しました。それによると、日本の中学校教員の仕事時間は1週間当たり56.0時間(小学校教員54.4時間)で、平均の38.3時間を大きく上回っています。断トツの世界最悪の長時間過密労働です。

「1年単位の変形労働時間制」の導入

政府・与党は、教員定数の見直しを行わず、「1年単位の変形労働時間制」の導入で対応しようとしています。これにより、夏休み・冬休み以外の長時間労働が制度化・固定化され、過労死の増加などの深刻な事態につながる危険性が指摘されています。

教員定数改善10ヶ年計画で9万人の教員増員

長時間過密労働が社会問題化するなか、野党(共産党)からは、教員定数を改善し、10ヶ年で9万人の教員を増やし、授業時数の上限を小学校で週20コマ、中学校で18コマとする提案がな

GDP比・教育予算最下位の日本	
OECD加盟国平均	4.2%
日本	2.9%

※2015年調査、2018年公開

されています。先進国最下位の教育予算のGDP比を0.1ポイント引き上げるだけで実現できるものです。

長時間過密労働防止に何が必要か？

長時間過密労働防止に何が必要かという問いに対し、教職員の78.5%が「教員の増員」と回答しています(厚生労働省「過労死白書」2018.10.30)。

教職員の労働条件は、子どもたちの教育条件でもあります。「教員増え！」の声を。教員現場から上げていきましょう。

教職員の会総会・納涼会のご案内

☆総会:8月17日(土) 13:30~

・徳島市ふれあい健康館 第4会議室

☆納涼会:8月17日(土) 18:00~

・郷里(さと) 徳島市栄町1-10

アクティから徒歩30秒

・電話 050-5827-2449

・2時間飲み放題 5000円

・申込は8月15日までに、河野さん

(電話090-9456-3369)まで